

日本社会科教育学会 第71回全国研究大会（福島大会）のご案内（1次案内）

日本社会科教育学会会長 井田 仁康
全国研究大会実行委員長 初澤 敏生

- 1 主催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
- 2 共催 福島大学人間発達文化学類（予定）
- 3 後援 福島県教育委員会・福島市教育委員会（予定）
- 4 会場 オンラインによる開催(ビデオ会議システム Zoom)
- 5 期日 2021（令和3）年11月27日（土）・28日（日）
- 6 日程

第1日目 11月27日（土）

8:30	9:00	12:00	13:30	16:00	16:15	17:00
受付	自由研究発表	昼食 評議員会	シンポジウム	休 憩		総会

第2日目 11月28日（日）

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表	昼食	課題研究発表	

7 シンポジウム

テーマ： 東日本大震災10年 防災・復興教育の現在

〔趣旨〕

東日本大震災から10年が経過し、各地で防災教育が盛んに行われるようになってきています。一方、震災の被災地では、新しい地域を作るための復興教育も行われています。これらに共通する課題は、学校と地域をいかに結びつけ、学びを深めていくのか、ということではないでしょうか。

防災教育・復興教育はともに学校だけで行うのではなく、学校と地域が連携して様々な活動を行うことにより、より大きな効果をあげることができます。しかし、学校と地域との連携が必ずしもうまくいっていないケースも少なくありません。本シンポジウムでは防災教育・復興教育について特徴ある取り組みを行っている学校の実践を学ぶとともに、防災・復興教育を理論的側面からも分析して今後のあり方を検討していきたいと思っております。

コーディネーター： 永田忠道（広島大学）

初澤敏生（福島大学）

シンポジスト： 中村祐哉（広島県熊野町立熊野第一小学校）

西川京子（福山平成大学）

南郷市兵（福島県立ふたば未来学園）

天野和彦（福島大学）

8 課題研究

I. 「ポストコロナ」社会を見据えた ICT・デジタル社会における社会科の再構築

コーディネーター： 戸田善治（千葉大学）

坪田益美（東北学院大学）

〔趣旨〕2020 年は、小学校から大学まで、インターネットを介したリモート授業への対応に追われましたが、「やるべきことができなかった」、「どうして今までしてこなかったのだろう」など、多様な感想を持ったのではないのでしょうか。児童・生徒・学生はおろか、学校教員もいわゆるデジタルネイティブ世代が多くを占めています。コロナ禍の有無にかかわらず、5G 時代の到来も重なり、学校教育を取り巻くハード・ソフト両面における ICT・デジタル化はごく自然かつ加速度的に進展していたのではないのでしょうか。戦後復興期の日本に誕生して以来、社会科は、いわゆる逆コース下での社会科、脱イデオロギー時代の社会科など、「社会科の本質をいかに守るか」という「守り」の対応に終始してきたともいえます。本分科会では、スマホやタブレットを単なるツールとみなすのではなく、ICT・デジタル社会を前提とした社会科の再構築あるいは再誕等、ICT・デジタル社会における社会科授業のあり方とともに、「社会科の本質」の再検討を行いたいと思います。

II. 社会科における主体的で対話的・共同的な学び

コーディネーター： 溜池善裕（宇都宮大学）

峯明秀（大阪教育大学）

〔趣旨〕社会科で目指すべき「主体的で対話的・共同的な学び」は、子ども達の学習が疑問・問題・問いによって自律的に学習を進めつつ、どの子どもも資質・能力が伸長するとともに教科内容の理解が担保される必要があります。そのためには、授業における指導が効果あるものでなければなりません。これを支えるものが、的確な評価にもとづくリアルタイムな学習指導（学習の仕方の指導）です。そこで、評価と学習指導の一体化をしつつ実践を行っている、小中学校の実践者からの報告をもとに、幅広く検討を進めていきたいと考えています。

III. 地域教材でつながる社会科と総合的な学習

コーディネーター： 小瑤史朗（弘前大学）

竹内裕一（千葉大学名誉教授）

〔趣旨〕シティズンシップを育む学習の舞台として「地域」への関心が再び高まりつつあります。他方で、「地域／国家／世界」を往還する重層的な社会認識の育成も要請されています。地域学習の意義・意味をどのような点に定めるか、また限られた授業時数のなかでいかに展開していくか。地域社会をめぐる状況と新教育課程を踏まえ、「総合的な学習の時間」との連携も視野に収めながら議論を深めたいと思います。

IV. ダイバーシティの視点から、今後求められる社会科授業を考える

コーディネーター： 金球辰（北海道教育大学旭川校）

荒井正剛（東京学芸大学）

〔趣旨〕「ダイバーシティ」を耳にする機会が増えてきました。社会科教育においても、ダイバーシティの視点で考えることが益々重要になってきています。本学会は、2018 年度にダイバーシティ委員会を立ち上げ、学会員を対象に質問紙調査を行い、昨年、その結果を本学会誌 140 号に報告しました。それを踏まえて、ダイバーシティの視点から、従来の社会科授業の課題を整理し、今後、社会科授業の在り方について、何を大切にすべきかの議論を深めていきたいと思います。

V. 社会科に係る機関や人材との連携・協働を実現できる教員をいかに養成するか

コーディネーター： 茨木智志（上越教育大学） 熊田禎介（宇都宮大学）

〔趣旨〕これまで社会科（地理歴史科・公民科）では、内容に係る施設・機関や人々の協力を得ての授業の充実が精力的に取り組まれてきました。学習指導要領でもこのような連携や協働を図ることを求めるようになりました。しかし、社会科教育として在るべき連携や協働とはどのようなものであり、それを実現できる教員をいかに養成するかについての議論はいまだ課題として残されています。そこで、様々な方面からの報告をもとに、幅広く検討を進めていきたいと思えます。

9. 大会参加の申し込みについて

(1) 大会参加費

一般会員・学生非会員：2,000円 学生会員：1,500円 非会員：3,000円

〔注1〕大会参加の事前登録および参加費の振り込みは6月1日（火）からです。本学会 HP の【大会参加（事前登録）申込フォーム】で事前登録をして、その受付番号を必ず振込用紙にお書きになり、入金をしてください。

〔注2〕参加費の振り込みと Web での参加申し込みの両方を済ませてください。両方を終えて大会参加の申し込みが完了します。片方だけでは事前参加申し込みとなりませんのでご注意ください。

(2) 大会参加の事前登録について

① 大会参加の事前登録は、本学会 HP リンク【大会参加（事前登録）申込フォーム】からお申し込みください。申し込み終了後、時間をおいて参加申込受付番号が自動送信されます。自動送信メールが送られてこない場合、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。

② 会員には大会参加費の振込用紙（事前登録専用）があります。必ず、本学会 HP で参加申込の上、自動返信メールに記載の参加申込受付番号をご記入のうえ、振り込みをお願いいたします。大会参加費の納入締め切りは、10月27日（水）です。非会員の方は以下の振込先をお願いします。

ゆうちょ銀行	口座記号番号 00220-9-143745	口座名：日社学全国研究大会
※他の金融機関から振り込む場合は、ゆうちょ銀行 ○二九店(029) 当座 0143745		

③ 大会参加事前登録の締め切りは10月22日（金）です。事前登録を完了された方の参加キャンセルは、大会実行委員会（宛先は11. に）に直接ご連絡ください。

④ 事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。

10. 自由研究発表の申し込み、シンポジウム・課題研究の要旨提出について

(1) 自由研究発表の申し込み者および発表者は会員に限ります。自由研究発表は、一人当たり2つ（単独1件と連名1件、あるいは連名2件）までといたします。シンポジウムおよび課題研究の発表はこれに含みません。なお、自由研究発表の日時等の希望にはお応えできない場合もあります。

(2) 自由研究発表の申し込みは、本学会 HP の【自由研究発表申し込みフォーム】にて行う予定です。メールの添付ファイルあるいはFAX等では受け付けません。8月1日（日）が締め切

りです。

(3)『大会発表論文集』の原稿は2ページです。受付は本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】にて行う予定です。メールの添付ファイルあるいはFAX等では受け付けません。様式は昨年度と同じですので、学会HPで確認してください。

(4)シンポジウム・課題研究の報告者の方も、本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】に要旨をお送りください。自由研究発表同様、締切りは9月15日です。

(5)連名で自由研究発表を申し込まれる場合、会員の方が代表となり申し込みをお願いいたします。会員以外で、連名として氏名が記されている方は、【大会参加（事前登録）申込フォーム】より、個々に必ず申し込みをして、それぞれ参加費をお支払いください。

(6)自由研究発表の日時は、大会プログラム（2次案内、10月中旬発送および大会HP）に掲載します。

(7)今年は、Zoom を用いてオンラインでの発表を行いません。発表時間は20分、質疑応答10分の計30分です。

(8)当日の資料は、Web上に掲載いたします。受付は本学会HPの【大会発表資料アップロードフォーム】にて行う予定です。資料の容量は5メガまでとして、PDFにして11月14日（日）までにアップロードしてください。参加者登録をした者のみ入ることができるWeb上にアップロードをして、2週間のあいだ資料の閲覧を可能にします。

【開始日・締切り日一覧】

○自由研究発表申し込みの締切り	:	8月1日（日）
○参加費振り込み、大会参加事前登録の開始	:	6月1日（火）
○『大会発表論文集』の原稿の締切り	:	9月15日（水）
○大会参加事前登録の締切り	:	10月22日（金）
○参加費納入締め切り	:	10月27日（水）
○資料提出締切り	:	11月14日（日）

1.1 問い合わせ先

住所：〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学 人間発達文化学類内
日本社会科教育学会第71回全国研究大会事務局
(担当 初澤敏生・糺田惣男・野木勝弘)

E-mail: jass71fukushima@gmail.com

※お問い合わせ等は、メールにてお願いします。